

平成 27 年 6 月 11 日

～夏休み旅行シーズンを前に～ 「安心・安全な旅」のための注意点



一般社団法人日本旅行業協会（本部：東京都千代田区 会長：田川博己）では、夏休みの旅行シーズンを前に、トラブルを未然に防ぎ、「安心・安全な旅」のために注意する点をまとめました。

<ご契約前>

◎インターネットや旅行のカウンターで旅行をお申込みの際は、そのお申込み先が「旅行業」の登録があるかどうか確認しましょう。

最近、日本では「旅行業」の登録のない海外旅行会社などが日本語のホームページで旅行を募集しているケースが多くなりました。このようなホームページから旅行を申込んだ場合は、日本で「旅行業」の登録をしている旅行会社と取引した場合に受けられる法律上の保護を受けることができません。また、「旅行業」の登録がないにもかかわらず、あたかも旅行会社のように旅行の販売をしている悪質なケースもあります。契約段階で、旅行会社の登録については確認の上、手続きを。

<ご旅行前>

◎海外旅行の際には渡航先の最新の安全情報をチェックしましょう。また、【たびレジ】に登録しましょう。

海外渡航情報（外務省海外安全ホームページ） <http://www.anzen.mofa.go.jp/>

たびレジ：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg>

渡航・滞在にあたって、特に注意の必要な国・地域の現地情勢や安全対策、特定の場所での犯罪・事故・テロ事件などについての安全対策等の情報が掲載されています。また、各地の犯罪発生状況、代表的な犯罪手口、防犯対策のほか、出入国に当たっての注意事項、風俗・習慣の特色なども掲載されています。また、ご旅行前に「たびレジ」に登録をしておくと、緊急事態発生などの安全に関わる情報が受けられます。

◎海外で健康に過ごすために、海外で流行している感染症の情報等をチェックしましょう。

FORTH（厚生労働省検疫所） <http://www.forth.go.jp/>

海外では、日本ではほとんど心配のない感染症がはやっているところがあります。渡航先の感染症情報を始め、予防接種、ご旅行後の健康チェック等の情報が掲載されていますので、事前にチェックしましょう。

○イザという時のために、旅行保険には必ず加入しましょう。

特に海外で病気になったり、事故に遭ったりすると高額な医療費が必要になることがあります。旅行保険は必ず加入しましょう。また、国内でも加入していると安心です。

<保険支払例>

- *ハワイで盲腸になり、救急車で病院に搬送、緊急手術を実施。 支払保険金：230万円
- *飛行機から降りる際、段差があり滑って転倒。頭部打撲、頸椎捻挫、右肩鍵板損傷。右肩関節に著しい機能障害が残るものとして、後遺障害認定。 支払保険金：1300万円
- *チェコでバスを降りてレストランへ向かっている途中で転倒。右大腿骨頸部骨折。現地で約1ヶ月入院し、その後、日本へ移送。 支払保険金：1,100万円

<ご旅行中>

○意識は海外モードへ。慢心をせずに無理のない旅行計画を。

日本とは気候・食事・習慣すべてが違います。慢心が事故のもとです。無理のないスケジュールで、十分休息を取り、適切な体調管理を心がけましょう。

○危険な場所・治安の悪い場所には近づかないようにしましょう。

犯罪が多発する場所には近づかない。夜間の外出や一人歩きは避けるという用心が大切です。

○バス等に乗車したときは、シートベルトを必ず閉めましょう。

○ホテル・旅館に宿泊するときは、非常口を必ずチェックしましょう。

○麻薬へのかかわりは、絶対避けること。

知らないうちに麻薬の運び屋にされていた、という事例もあります。他人の荷物を安易に預かり、国外に運ぶことは避けましょう。

○スリ、置引き、ひったくりに注意しましょう。

グループでの犯行にご用心。たとえば、一人が時間を聞くふりをし、注意をそらしている間に、他の仲間がバッグから金品を抜き取ったり、集団で取り囲んで身動きできないようにしてスリを実行したり、わざと飲物類を背広にひっかけ、親切にふきとるふりをして上着を脱がせ、金品を奪う手口もあります。路上でいきなり背後から襲って金品を強奪する首絞め、羽交い締め強盗にも注意しましょう。

お問い合わせ先

一般社団法人日本旅行業協会

広報室 永由・新田・佐藤 TEL：03-3592-1244